

# 2025年3月期 業績概要

杉田 俊一

アンリツ株式会社  
取締役 常務執行役員 CFO

2025年4月25日



本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

# 目次

1. 事業概要
  2. 2025年3月期 連結決算概要
  3. 2026年3月期 通期業績予想（連結）
- Appendix：用語集

# 1. 事業概要

## 通信計測事業

ネットワーク社会の進化・発展

- ◆ モバイル市場：5G、5G利活用
- ◆ ネットワーク・インフラ市場：データセンター、光NW、無線NW
- ◆ エレクトロニクス市場：基地局建設保守、電子部品、無線設備



## PQA事業

食と医薬品の安全・安心

- ◆ 食品検査市場
- ◆ 医薬品検査市場



## 環境計測事業

脱炭素社会を目指して

- ◆ EV/電池試験市場
- ◆ ローカル5G導入支援



## その他

- ◆ センシング & デバイス
- ◆ その他



### (セグメント別売上比率)

2024年3月期 実績 (連結)：1,100億円

通信計測 64%			PQA 23%	環境計測 7%	その他 6%
モバイル 42%	ネットワーク・インフラ 36%	エレクトロニクス 22%			

2025年3月期 実績 (連結)：1,130億円

通信計測 62%			PQA 25%	環境計測 8%	その他 5%
モバイル 43%	ネットワーク・インフラ 39%	エレクトロニクス 18%			

### (通信計測事業 地域別売上比率)

2024年3月期 実績

日本 16%	アジア他 38%	米州 26%	EMEA 20%
--------	----------	--------	----------

2025年3月期 実績

日本 16%	アジア他 38%	米州 28%	EMEA 18%
--------	----------	--------	----------

## 2-1. 連結決算概要 - 業績サマリー -

▶ 前年同期比 増収増益

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前期実績	当期実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	1,073	1,126	53	5%
売上高	1,100	1,130	30	3%
営業利益	90	121	31	35%
税引前利益	100	127	27	28%
当期利益	77	93	16	21%
当期包括利益	132	78	△ 54	△ 41%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入 (前年同期比増減額を除く)

## 2-2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

▶ 全てのセグメントで増益

(単位：億円)

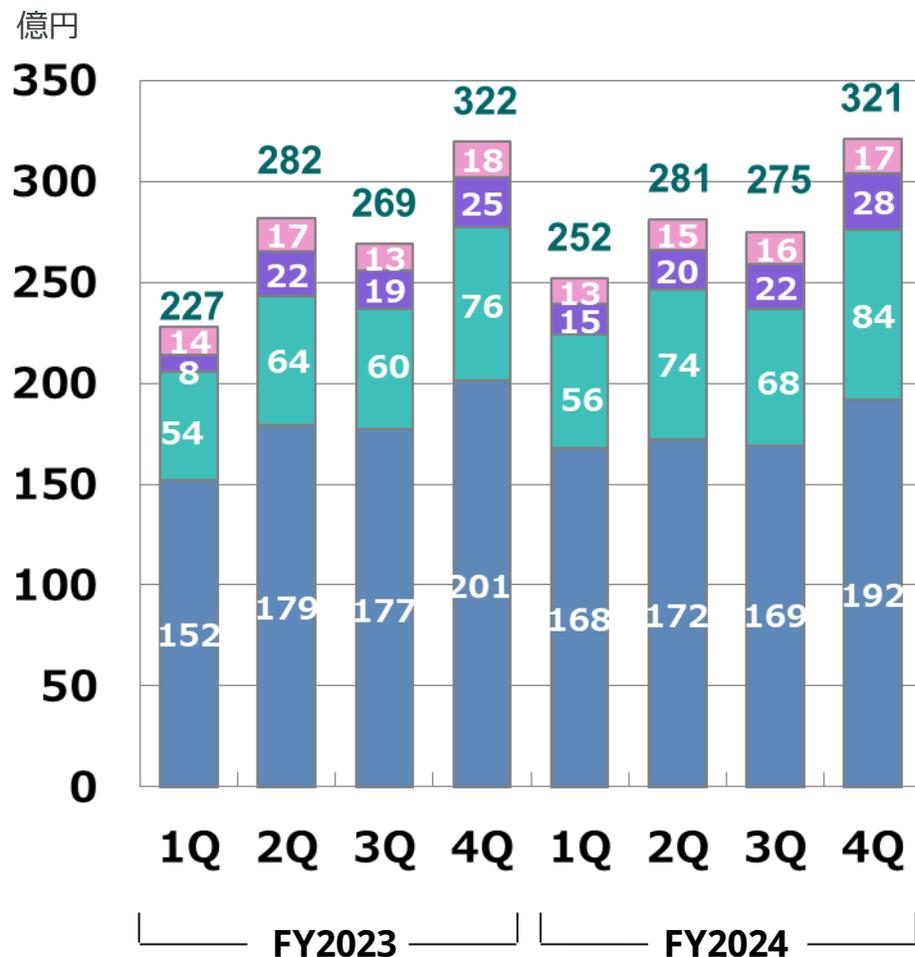
国際会計基準(IFRS)		前期実績	当期実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
通信計測	売上高	710	701	△ 9	△ 1%
	営業利益	75	84	9	11%
PQA	売上高	254	282	28	11%
	営業利益	13	28	15	119%
環境計測	売上高	74	85	11	15%
	営業利益	5	9	4	68%
その他	売上高	61	61	△ 0	△ 1%
	営業利益	8	15	7	80%
調整額	営業利益	△ 12	△ 14	△ 2	-
合計	売上高	1,100	1,130	30	3%
	営業利益	90	121	31	35%

(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入（前年同期比増減額を除く）

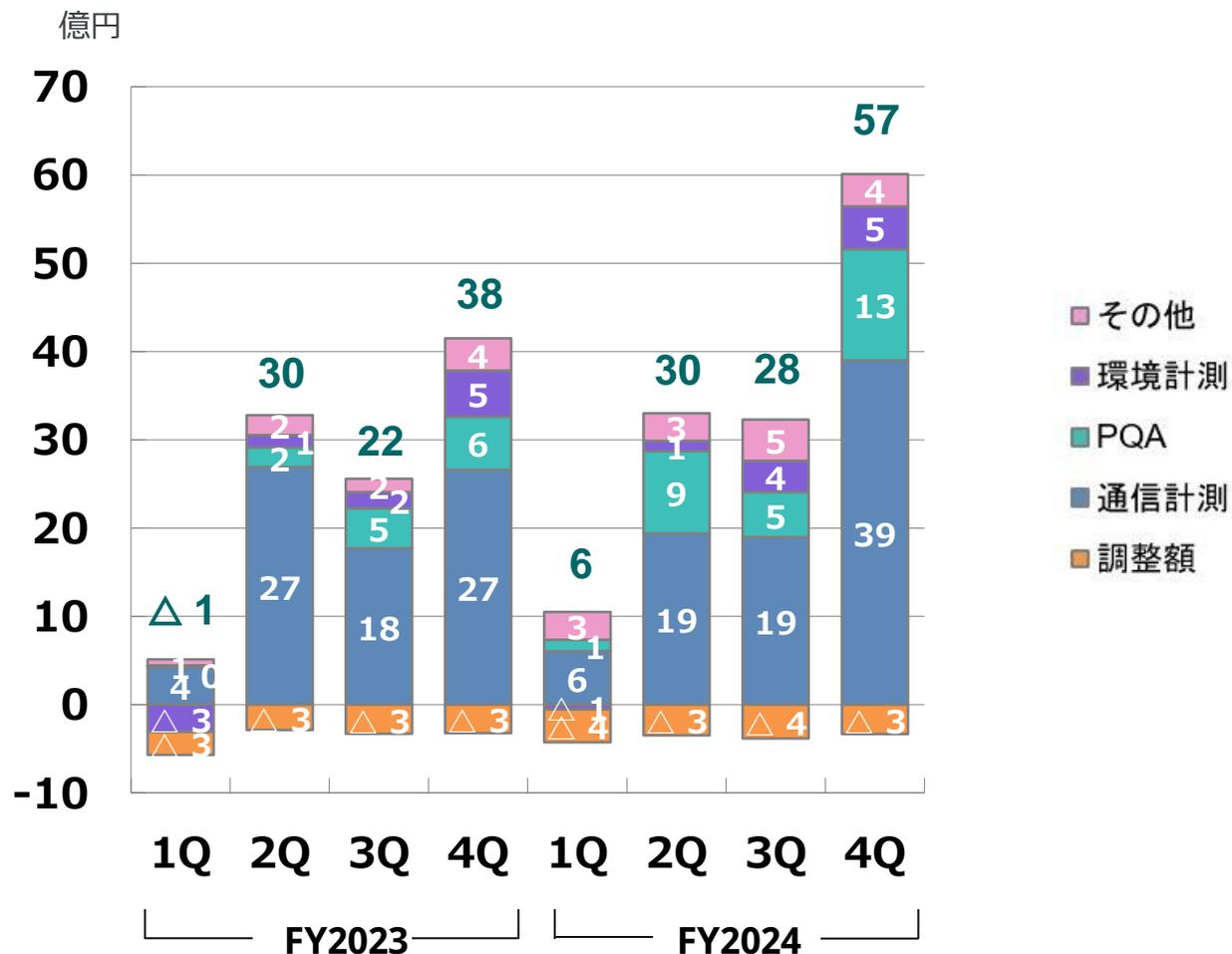
(注2) 調整額にはセグメント間取引消去、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれています。

## 2-3. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

▶ 4Q(1-3月)営業利益率：通信計測 20.5%、PQA 15.0%、環境計測17.1%



売上高



営業利益

(注) 値はそれぞれで四捨五入

### セグメント 2025年3月期（4-3月）の状況

➡ 通信計測：世界的な物価、人件費上昇等で止まっていた設備投資が再開も、投資への慎重姿勢が継続  
固定ネットワークの高速化需要は好調

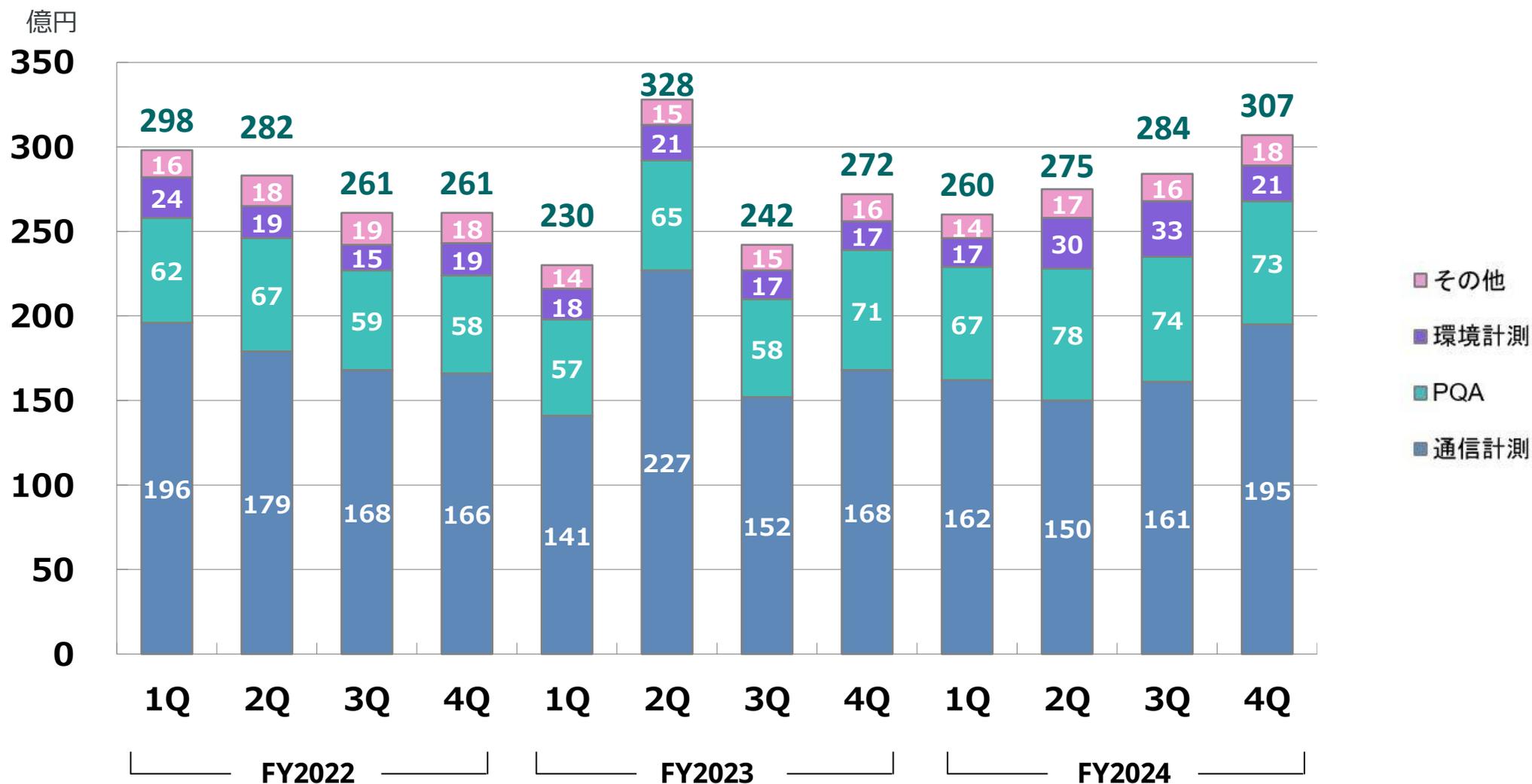
モバイル	5G開発市場の投資は不安定も緩やかに回復傾向 5G利活用市場では自動車为好調
ネットワークインフラ	グリーンデータセンターや生成AI専用のデータセンターの構築が加速 光海底ケーブルの敷設が増加傾向
エレクトロニクス	6G基礎研究への投資は様子見 基地局建設・保守市場が低調
アジア他・日本	中国の5Gスマホ開発市場の投資停滞もデータセンター市場为好調
米州	生成AI等によりデータセンター市場为好調

➡ PQA：米国を中心に海外での需要为好調。国内ではインバウンド関連需要为好調

➡ 環境計測：EV/電池向け試験装置の需要为好調

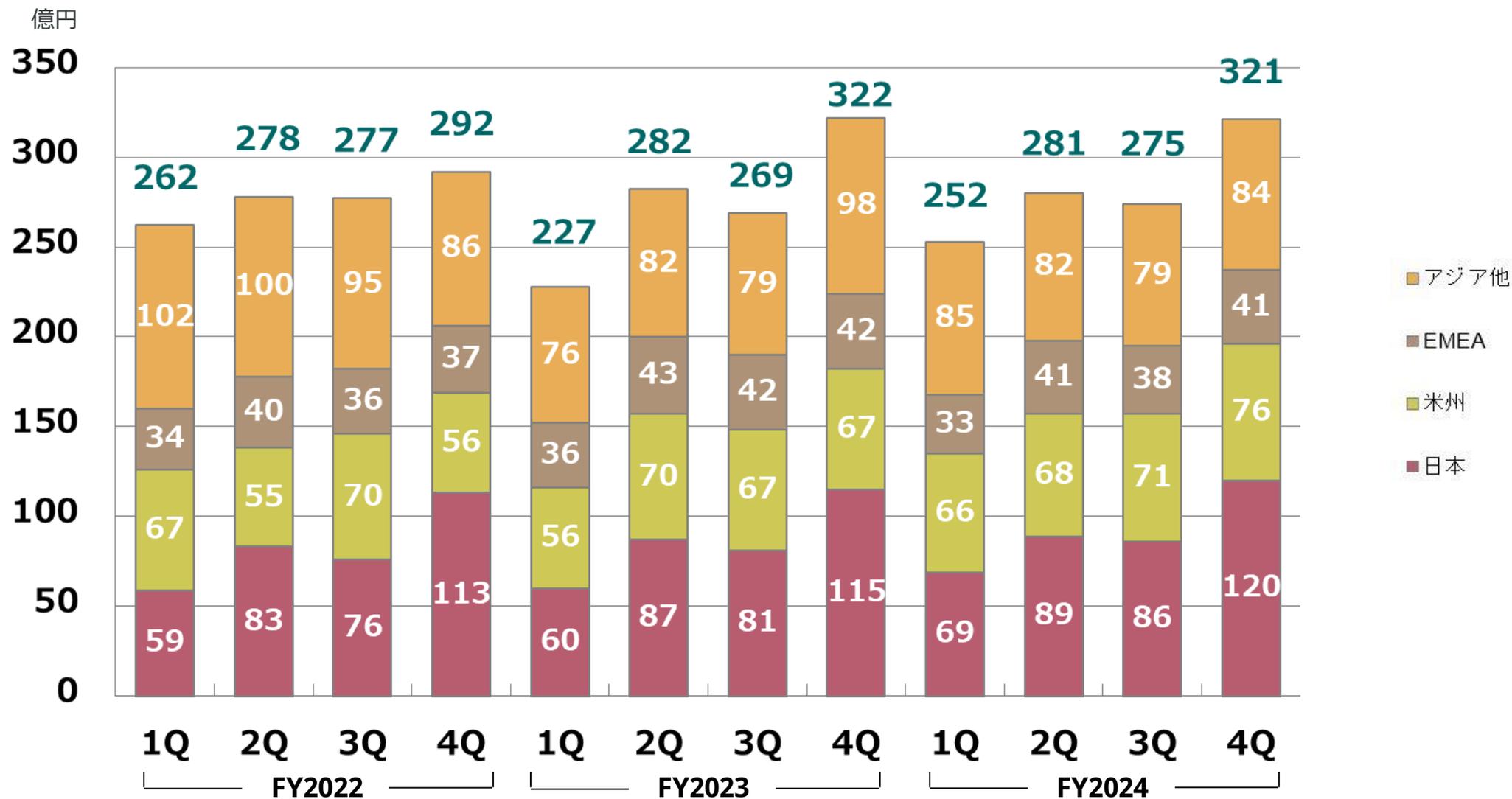
## 2-5. 受注高推移

▶ 4Q(1-3月)受注高：前年同期比 通信計測 16%増、PQA 2%増、環境計測 26%増



(注) 値はそれぞれで四捨五入

## 2-6. 地域別売上高推移



## 2-7. キャッシュフロー

▶ 営業CFマージン率 18.6%

### FY2024 (4-3月)

- ① 営業CF： 211億円
- ② 投資CF： △39億円
- ③ 財務CF： △123億円

### フリーキャッシュフロー

(① + ②)： 172億円

### 現金同等物期末残高

501億円

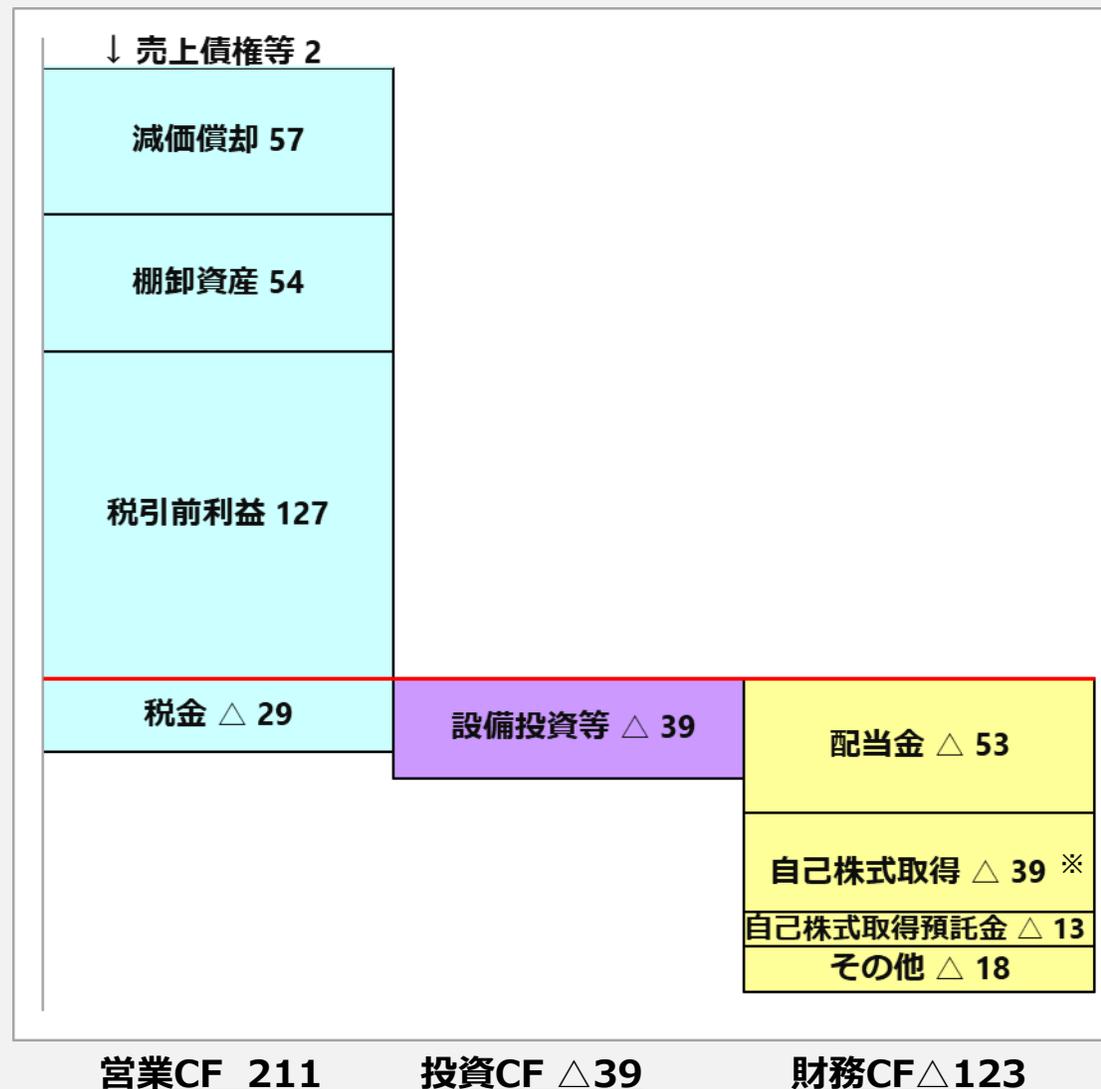
### 有利子負債高

61億円

(注) 値はそれぞれで四捨五入

### 内訳

(単位：億円)



※自己株式取得：業績連動型株式報酬制度に係る自己株取得分 2 億円を含む

### 3-1. 2026年3月期 通期業績予想 (連結)

▶ 通信計測、PQAで増収増益を狙う

(単位：億円)

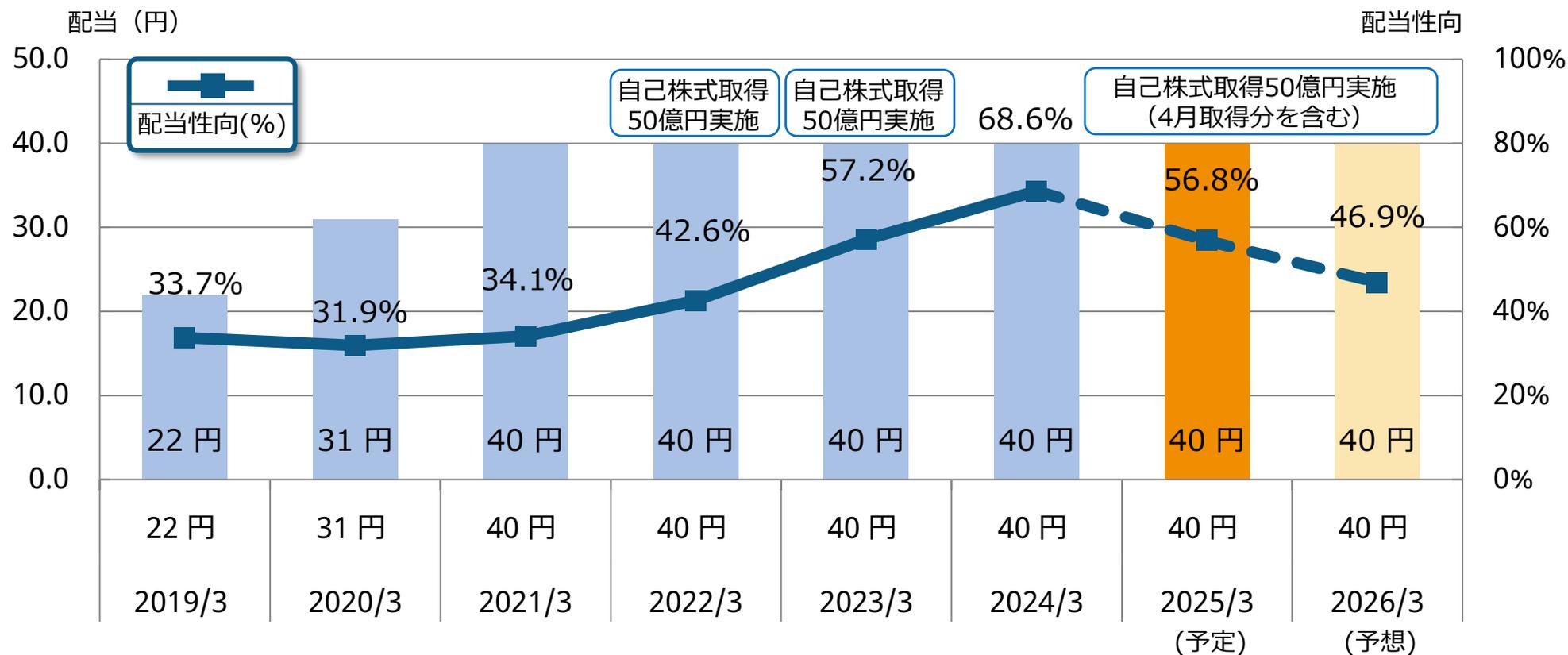
国際会計基準(IFRS)		2025/3期	2026/3期		
		前期実績	通期予想	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
売上高		1,130	1,230	100	9%
営業利益		121	150	29	24%
税引前利益		127	150	23	18%
当期利益		93	110	17	19%
通信計測	売上高	701	770	69	10%
	営業利益	84	120	36	43%
PQA	売上高	282	300	18	6%
	営業利益	28	30	2	6%
環境計測	売上高	85	100	15	17%
	営業利益	9	9	0	0%
その他	売上高	61	60	△ 1	△ 1%
	営業利益	15	10	△ 5	△ 31%
調整額	営業利益	△ 14	△ 19	△ 5	-

(参考) FY24 為替レート : 1米ドル153円、1ユーロ164円  
 FY25 想定為替レート : 1米ドル145円、1ユーロ160円

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入 (前期比増減額を除く)

## 3-2. 配当予想について

2026年3月期 年間配当予想 : 40円



3年間の 総還元性向	GLP2020 (FY2018~FY2020)	GLP2023 (FY2021~FY2023)
	33.3%	87.5% (自己株式取得100億円含む)

# 4. 当社の取り組みについて

濱田 宏一

アンリツ株式会社  
代表取締役 社長

# 4-1. 売上高・営業利益計画 (1/2)

指標	
	売上高
	営業利益
	営業利益率
	当期利益
	ROE

通信計測事業	売上高
	営業利益
	営業利益率
PQA事業	売上高
	営業利益
	営業利益率
環境計測事業	売上高
	営業利益
	営業利益率

FY2024実績	
	1,130 億円
	121 億円
	11 %
	93 億円
	7.4 %

	701 億円
	84 億円
	12 %
	282 億円
	28 億円
	10 %
	85 億円
	9 億円
	11 %

## GLP2026

FY2025計画※1	
	1,230 億円
	150 億円
	12 %
	110 億円
	9 %

	770 億円
	120 億円
	16 %
	300 億円
	30 億円
	10 %
	100 億円
	9 億円
	9 %

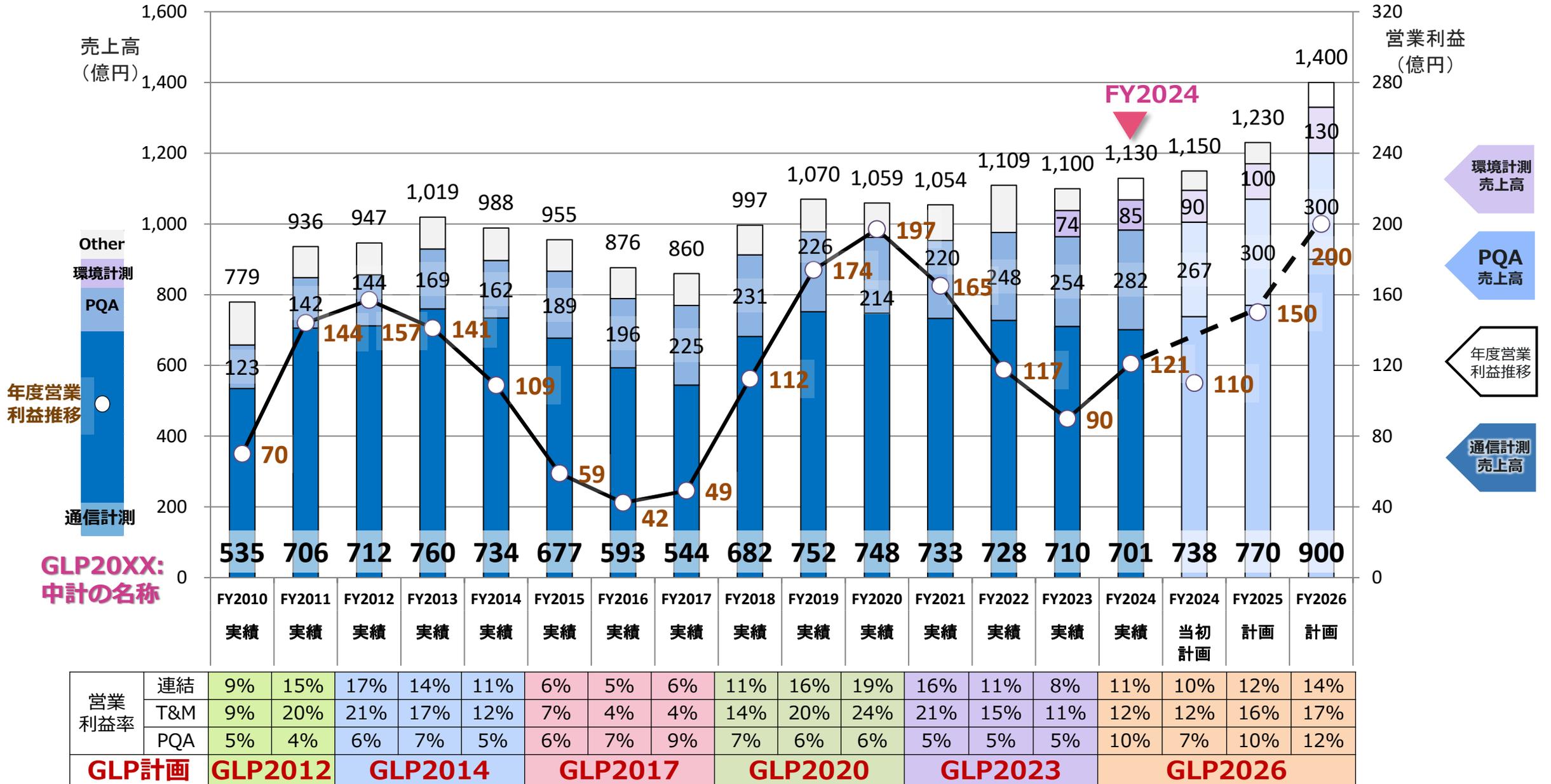
FY2026計画※2	
	1,400 億円
	200 億円
	14 %
	150 億円
	12 %

	900 億円
	150 億円
	17 %
	300 億円
	36 億円
	12 %
	130 億円
	14 億円
	11 %

※1：FY2025想定為替レート：1米ドル145円、1ユーロ160円

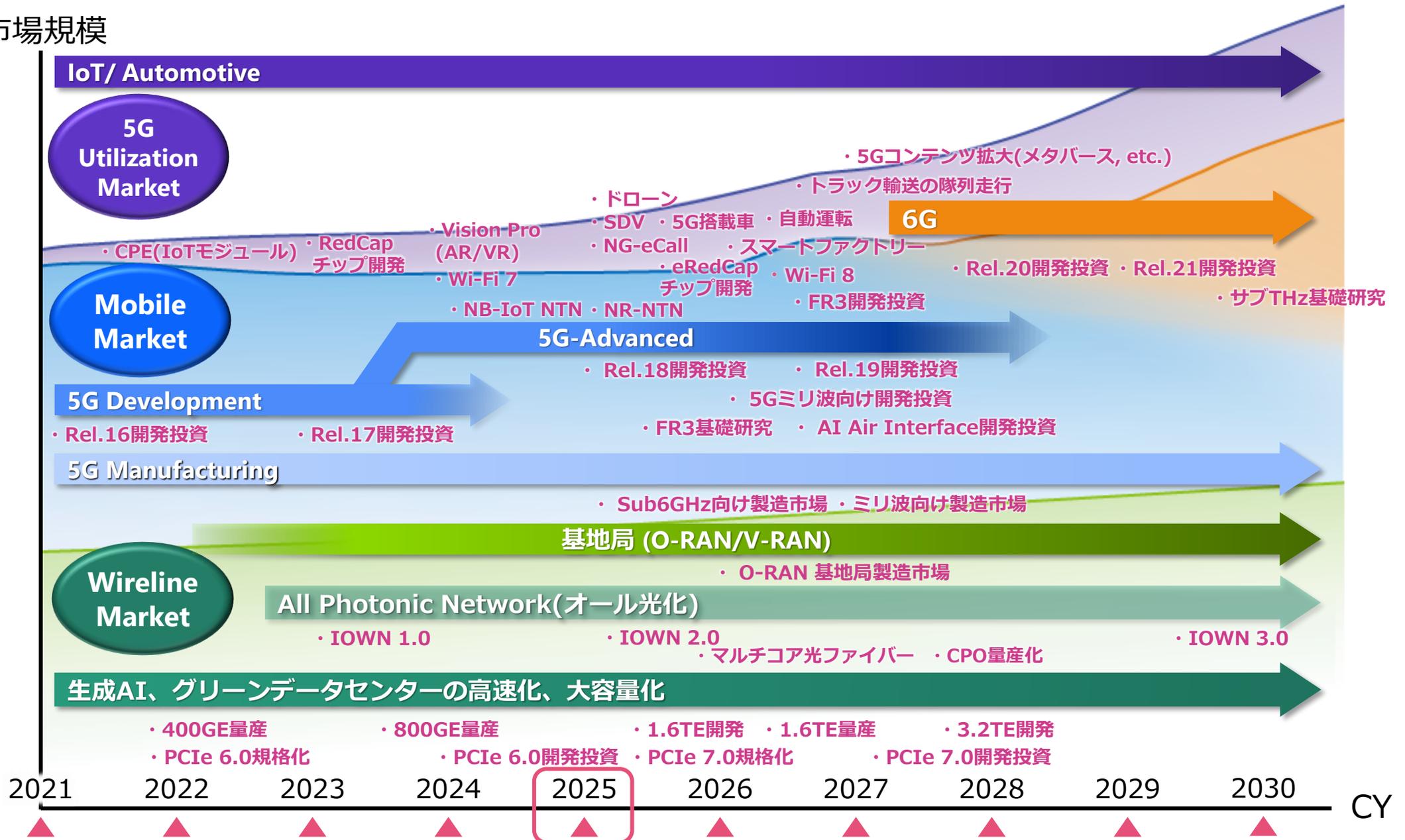
※2：GLP2026計画時想定為替レート：1米ドル=145円、1ユーロ=155円

# 4-2. 売上高・営業利益計画 (2/2)



# 4-3. 今後の取り組み：通信計測市場トレンドと事業機会

市場規模



CY

### 省力化と品質管理強化を両立する「XR76シリーズ」新型X線検査機

検査設定や誤検出品の再検査に多くの人手を必要としている食品検査市場に最新鋭のセンシング技術の搭載と操作性の向上を図った「XR76シリーズ」を投入することで売上拡大を目指す



#### ■ 特長

- 商品をコンベアに一回流すだけで、検査設定が完了
- スマートフォンのような直感操作性
- 誤検出率を従来比1/7に低減。再検査の手間を削減し、歩留まりも改善
- 従来比で最高40%の検出感度向上
- 高速ラインでも安定検査
- 長寿命化によるダウンタイムの低減

#### ■ 対象顧客

食肉加工メーカー、菓子メーカー、総菜メーカー、冷凍食品メーカーなど

#### ■ 発売開始

2025年4月1日 日本およびアジア地域にて販売開始  
(欧米を含むその他の地域も、順次販売開始予定)

### EV/電池試験や電源ビジネスのグローバル展開に向けた取り組みの加速

#### 《FY2025の取り組み》

##### RZ-X2-100Kの北米展開の実現

- RZ-X2-100Kの北米規格対応および認証取得を2025年12月末までに完了する
- 通信計測事業の既存事業オペレーションを活用し、早期に販売活動を開始
- 北米市場に顧客基盤を持つ共創パートナーとの協業関係を構築

#### ■ 対象顧客

- 北米自動車メーカーおよびそのサプライチェーン  
(自動車部品メーカー, 受託試験業者等)
- 多様なモビリティ(二輪, 建機, 農機, 航空機 等)の電動化を目指すお客様

**MEDT**  
Mutual Energy Drive Technologies

**双方向電源**  
**RZ-X2-100K**



MEDT : Mutual Energy Drive Technologies(相互にエネルギーを融通する技術)を意味し、フレキシブルで動作範囲の広い電源ユニットを高度に制御することで、多様な大容量エネルギー制御を実現する当社のコアテクノロジーを示す独自ブランドです。

## Mobile World Congress

世界最大のモバイル通信関連の展示会  
2025年3月3日～3月6日  
バルセロナで開催



### 主なトピック

- **来場者数：10万9千人**  
2024年より8千人増、過去最高の2019年と同水準
- **多くの企業がAIを展示**  
AIによるネットワーク効率化、様々なユースケースやサービスを展示
  - ・ 基地局にAI機能を実装した AI RANを複数の企業が展示
  - ・ MediaTek社が当社機器を使用し、Smart AI Antennaのデモ実施
- **NTN展示数増加**  
オペレーター各社、モジュールベンダ、計測器ベンダなど関連企業各社ブースにNTN展示があり、昨年よりも展示数増加傾向



MediaTek社のブース

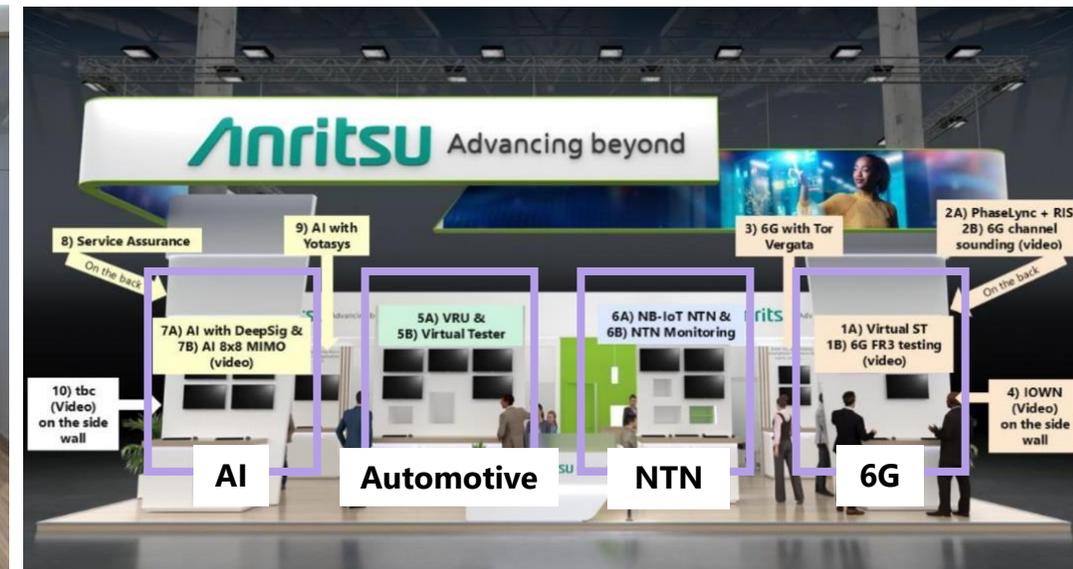
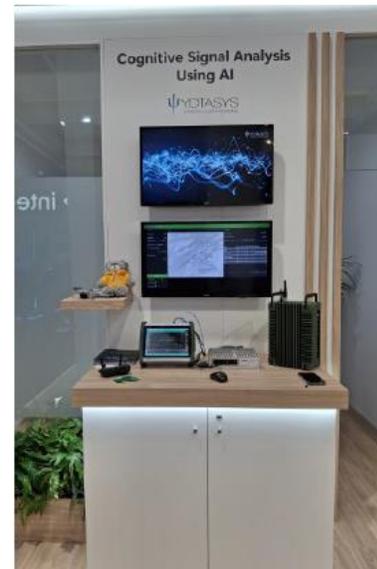


- **当社ブース来訪者：332人**  
2024年来場者数319名、昨年比4%増
- **6G、AI、Automotive、NTNの4つを中心とした展示**  
RF Field Test AI解析に最大の関心

6G、AIについては8団体との協業展示実施

協業した8団体

- ・ Aalborg University (デンマーク)
- ・ Corning Incorporated
- ・ IOWN
- ・ LG Uplus Corp.
- ・ POSTECH (浦項工科大学校/韓国)
- ・ RAPA (韓国電波振興協会)
- ・ SK Telecom Co., Ltd.
- ・ Tor Vergata University of Rome



RF Field Test (AI解析)

3GPP :	3rd Generation Partnership Project	NG-eCall :	Next Generation emergency Call
AI RAN :	Artificial Intelligence Radio Access Network	NTN :	Non-Terrestrial Network
AR :	Augmented Reality	NW :	Network
CPE :	Customer Premises Equipment	O-RAN :	Open Radio Access Network
CPO :	Co-Packged Optics	PCIe :	Peripheral Component Interconnect express
EM:	Environmental Measurement	PQA :	Products Quality Assurance
EMEA :	Europe, Middle East, Africa	RedCap :	Reduced Capability
eRedCap :	enhanced Reduced Capability	SDV :	Software-Defined Vehicle
EV :	Electric Vehicle	T&M:	Test and Measurement
GLP :	Global Long-term management Plan	VR :	Virtual Reality
IOWN :	Innovative Optical and Wireless Network	V-RAN :	Virtual Radio Access Network
NB-IoT :	NarrowBand Internet of Things	WRC :	World Radiocommunication Conference

**Anritsu**  
Advancing beyond

